



5月 おいすかだより

2021年5月10日発行

昨日、5月9日に入園式が行われました。

★★すけくん、★★きくん、★★とくん、★★りちゃん、ご入園、おめでとうございます。ジャカルタと日本から、みんな一緒にお祝いできました。



お食い初めや七五三などと並び、入園式は人生の最初期の大きな節目となるセレモニーです。この一年も、皆で楽しい学びの経験をたくさん重ねましょう。

さて、インドネシアも日本でも徐々に新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできました。ワクチン接種後に日本から先生方が赴任予定です。今年度の運動会は園庭でできるでしょうか。

左の画像は緑の葉に映える、園庭のランブータンの実です。拡大して見てみましょう。ふさふさしたランブータンの実の感じがよくわかります。

みなさんの家の周りには実をつけている木はありますか。何の木でしょう。

【新入園のおともだち】

に★★ ★★け くん (5歳児クラス)

に★★ ★★き くん (3歳児クラス)

い★★ ゆ★★くん (3歳児クラス)

い★★ あ★★ちゃん (2歳児クラス)

【5月のおたんじょうかい】 30日(日)ジャカルタ時間8時30分です。

5月生まれの園児はいませんが、みんなで集まりましょう。

【リサ先生のつぶやき】

コロナから1年、学んだ事は「Let it Be. Let it Flow」。なるがままに、流れにのる。実はとても難しい事ではあるけれど、見事にこのモットーがサバイバルに繋がったとは。思いやり、気遣い、ちょっとした優しい言葉かけ。日々時間に追われていると忘れがちな人間としてのエッセンスを取り戻せた。心配や不安を抱えて日々追われていたけれど、先の見えないコロナのお陰で「今を一生懸命・真剣に」と気持ちの切り替えがいつの間にか出来ていた。小さな幸せ、沢山の感謝。こんなピュアな気持ちを取り戻せたのは子ども達と接しられたからだろう。今悲しかったら思いっきり泣く。悔しかったら思いっきり怒る。嬉しかったら大声で笑うし喜びを表現する。そして又今日1日頑張らず、普通に生きて行く。オンラインが主な保育のジャカルタ園。対面が無く心配はしたけれど、子ども達はスクスクと確かな成長を見せてくれている。恥ずかしくて、人前でお話しが難しかった子が卒園式では将来を語ってくれた。卒園証書を貰うときのお辞儀と受け取った時の言葉は一生懸命で覚えようとする姿の卒園児。それを真剣に応援している園児達。「頑張るって〜」のお友達の言葉で頑張れた。毎月のお誕生会を通し、日本にいるお友達の成長。人間って本当に素晴らしい。人間の基本の力、皆スクスク自分達のありのままの姿で育って行って貰いたい。それぞれ、違ったユニークな実を实らせると信じて。明日も又「リサせんせ〜い、あのね、、、」と天使ちゃん達の声を聞きながら素敵に1日を過ごせるだろう。



【幼稚園の庭から】 右上の画像は園庭のオクラです。オクラの実、見つかりましたか。農薬や化学肥料を使わずに理事長先生は園庭でいろいろな野菜を育てておられますが、オクラもその一つです。オクラはエチオピアが原産とのこと。エチオピアの場所を世界地図で調べましょう。見つかりましたか。